

農業農村整備事業関係予算の推移

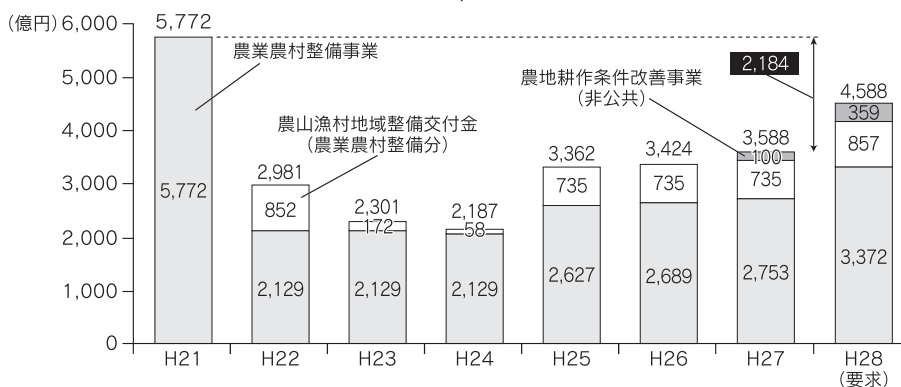
- 農業農村整備事業の平成28年度概算要求については、農業競争力強化のための農地の大区画化・汎用化、新たな農業水利システムの構築、国土強靱化のための農業水利施設の長寿命化、耐震化対策、ため池の管理体制の強化等を推進するため、3,372億円を要求。
- 農山漁村地域整備交付金の農業農村整備分及び非公共事業である農地耕作条件改善事業と合わせて、対前年度比127.9%の4,588億円を要求。

平成28年度予算概算要求

単位：億円

	H27 予算	H28 概算要求	前年度比
農業農村整備事業	2,753	3,372	122.5%
農山漁村地域整備交付金 (農業農村整備分)	735	857	116.5%
小計	3,488	4,229	121.2%
農地耕作条件改善事業 【非公共】	100	359	359.1%
計	3,588	4,588	127.9%

農業農村整備事業関係予算（当初）の推移



農業農村整備事業（公共）【337,200(275,265)百万円】

対策のポイント

農業競争力強化のための農地の大区画化・汎用化、新たな農業水利システムの構築、国土強靱化のための農業水利施設の長寿命化・耐震化対策、ため池の管理体制の強化等を推進します。

<背景／課題>

- ・農業競争力強化を図るためには、担い手への農地の集積・集約化に向け、農地中間管理機構とも連携した農地の大区画化・汎用化や、水管理の省力化等を実現する新たな農業水利システムの構築等を推進する必要があります。
- ・国土強靱化を図るためには、地震・豪雨等の自然災害の激甚化や基幹的な農業水利施設の老朽化への対策を講ずる必要があります。

政策目標

- 担い手が利用する面積が今後10年間(平成35年度まで)で全農地面積の8割となるよう農地集積を推進
- 国営造成施設における重要構造物の耐震設計・照査の実施率
(約2割(平成23年度)→約6割(平成28年度))
- 基幹水利施設の機能診断済みの割合
(約4割(平成22年度)→約7割(平成28年度))
- 決壊すると多大な影響を与えるため池のうち、ハザードマップ作成等ソフト対策を実施した割合
(4割(平成26年度)→10割(平成32年度))

<主な内容>

1. 農業競争力強化対策 131,214(108,932)百万円

大区画化・汎用化等の基盤整備を実施し、農地中間管理機構とも連携した担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化を推進します。また、草地基盤整備を実施し、離農農家の草地の円滑な継承を図ります。

パイプライン化やICTの導入等により、水管理の省力化と担い手の多様な水利用への対応を実現する新たな農業水利システムを構築し、農地集積の加速化を推進します。

2. 国土強靱化対策 205,986(166,333)百万円

基幹的な農業水利施設等の耐震診断やハザードマップの作成、耐震化工事、ため池の監視・管理体制の強化、農村地域の洪水被害防止対策等を実施します。

老朽化した農業水利施設の点検・診断の結果をデータベース化し、補修・更新等を適時・的確に実施します。

農業競争力強化基盤整備事業(1)	47,780 (34,074) 百万円
農業基盤整備促進事業(1)	22,520 (22,520) 百万円
農業水利施設保全合理化事業(1)	7,039 (4,461) 百万円
水利施設整備事業(農地集積促進型)(1)	606 (606) 百万円
国営農地再編整備事業(1)	28,788 (22,937) 百万円
国営かんがい排水事業(1、2)	123,240 (105,333) 百万円
農村地域防災減災事業(2)	44,216 (28,015) 百万円
国営総合農地防災事業(2)	28,975 (22,813) 百万円
水資源機構かんがい排水事業(2)	7,272 (6,926) 百万円
国庫負担率・補助率：2/3、1/2等 事業実施主体：国、都道府県等	

平成28年度予算における農業農村整備事業の負担軽減対策

※下線部は平成28年度予算における拡充事項

- ①水利施設整備事業の農地集積促進費(事業費の最大12.5%)
- ②農地整備事業の農地集積促進費(事業費の最大12.5%)
- ③自力施工等の簡易整備に対する定額助成(助成単価の加算措置あり)
- ④農家負担金の償還金利子を助成
- ⑤ため池の廃止に対する定額助成
- ⑥ソフト対策(耐震照査、ハザードマップ作成等)への定額助成

事業名	負担軽減対策の概要
①水利施設整備事業(農地集積促進型)【継続】	水利施設の整備において、中心経営体への農地集積率に応じて促進費を交付(最大で事業費の12.5%)
②農業競争力強化基盤整備事業(農地整備事業)【継続】	農地の整備において、中心経営体への農地集積率に応じて促進費を交付(最大で事業費の12.5%)
③農業基盤整備促進事業【継続】	自力施工等の簡易整備(畦畔除去、暗渠整備等)に対する定額助成(中心経営体に面的集積する農地については定額助成単価を2割加算)
④農家負担金軽減支援対策事業【拡充】	農家負担金の償還金利子の助成 [認定期間の延長]
⑤ため池緊急防災体制整備促進事業【継続】 (農村地域防災減災事業のメニュー)	地域の防災上廃止することが適切な場合のため池の廃止に対する定額助成
⑥-1 農村地域防災減災事業【拡充】 (農村地域防災減災事業のメニュー)	定額助成のソフト事業(耐震照査、計画策定、ハザードマップの作成等) [定額助成採択期間の延長]
⑥-2 農業水利施設保全合理化事業【拡充】	定額助成のソフト事業(老朽施設の点検、機能診断、計画策定等) [事業採択期間の延長]

(農林水産省説明会資料より)

水土里ネットの スキルアップ研修会

8月11日、18日、25日の3日間、水土里ネットのスキルアップ研修会を開催。今年度は、NPO法人あきたNPOコアセンターの吉田理紗さんを講師に迎え、「地域の中で話し合いを進行する技術」を議論整理の方法である「ファシリテーショングラフィック」という技法を用いて学びました。



▲付箋を使った意志表示

20～30代の研修会では28名、40代では16名、50代では16名の県内土地改良区職員が参加。色マジックを使ったり、グループになって模造紙を埋めていったりと、徐々に人とヒトとの距離を縮めていくような、大半の人が初めて行う講義内容で、最初は緊張した面持ちだった面々も時間が経つに連れ、議論が白熱。休み時間までグループで討議する様子が見られました。

最終プレゼンテーションでは、各年代別の研修でそれぞれ別のテーマについて話しあってもらいました。20～30代は「今後の水土里ネットが地域で果たす役割とは?」、40代は「このグループで話したいことをテーマに掲げる」、50代は「地方創生 秋田の未来『秋田がこんなところになったらいいな』」。特に40代では、自分たちでテーマを決めるとあって、悩みながらも「水土里ネットの将来」、「職員の将来」、「未収賦課金をどうしていくか」、「職員の在り方」というテーマでそれぞれ話し合いを進めました。

時間が限られていることもあって「もっと話したい」という意見が多かったです。それでも、午後の5時間、まるまる集中して講義を受けていました。帰り際、「他の土地改良区の人達とこんなに心から話したことはなかった」「来年は是非1泊2日をお願いします」という嬉しいご意見もいただきました。



▲グループワークで話す職員

30代の男性職員からは「これからは場整備が始まるので、協議会の話し合いをわかりやすくまとめる事が重要になってきている所です。今回、研修の中で吸収した部分を活用できるようにしていきたいと思いました。ファシリテーショングラフィックを日常の業務にも活用していきたいです」、40代の女性職員からは「スキルアップ研修会はどういう事をやるのかと、申し込んだ日からドキドキしていました。参加してみて、まず一言で言えば楽しかった

です。今日教えて頂いた事が何かの役に立てられればと思います」と感想も頂き、「また色々な研修会を催してほしい」という職員の方達のご要望に少しでも応えて行けたらと思っています。

今年度は同年代同士を集めた研修会のため、まずはお互い肩の力を抜きながらリラックスして交流することができ、普段関わりがないような他地域の職員同士でも共通した悩みを持っていることを知り、今後の土地改良区運営における意識向上への第一歩を踏み出すものとなったと思います。



▲最終発表に熱がこもります

『水土里キッズのわくわく探訪inUGO』を開催しました！



9月5日、水土里キッズのわくわく探訪を開催。今年は秋田市及び羽後町の児童とスタッフ併せて47名が参加。朝からお天気も良く、絶好の探訪日和となりました。



秋田市内の参加者はバスに乗り込み、開講式が行われる羽後町役場へと向かいます。役場では浦田副町長がお出迎えと歓迎の挨拶をしてくれました。羽後町から参加する児童のご家族に見送られ、いざ探訪に出発!!



旧長谷山邸は、明治15年に建てられた建物です。この地方に多く見られる茅葺民家形式の中門造の様式で、側柱上端から腕木を出したせがい造りの重厚な外観と内部の梁を幾重にも積み重ねる「本小屋」の梁組、座敷の書院風座敷飾、細やかな組子細工など、贅を尽くしたこだわりの感じられる建物で、土蔵高樓は周囲に映える白壁と軸部の均整の取れた美しさが「長谷山の三階建」と言われて地域のシンボルとされ、この二つの建物が渡り廊下で連結されています。子ども達は隠れ家のような作りの建物の中を、珍しそうに眺めながら探検していました。

